

シリーズ
追跡
サイン施工
最前線
車体装飾編
〈第五回〉

デザインラボ

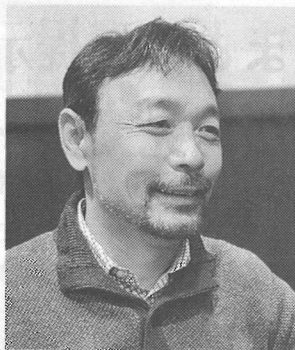
専門部隊とネットショップ設置

サイン業への相乗効果を期待

「本家」の技術で、ビジネスチャンスをつかむ。本連載は、専門技術を要するサイン施工について、企業各社の取組みを追うもの。第一弾は車体装飾編とし、市場環境や今後の可能性にも言及していく。第五回は、高級輸入車におけるフルラッピング技術に定評があるデザインラボ。

2020年の東京五輪 物条例改正以来、車体装飾に活かせる稀有な分野な開催まで約3年。イ飾を有力なビジネスツールに捉え、市場参入を果から、カーラッピング市場も活気づいていくことは必至だ。

00年の東京都屋外広告 業戦略の新たな柱に位置付け、積極果敢にチャレンジする企業が少なからず出てきている。



如谷伊社長

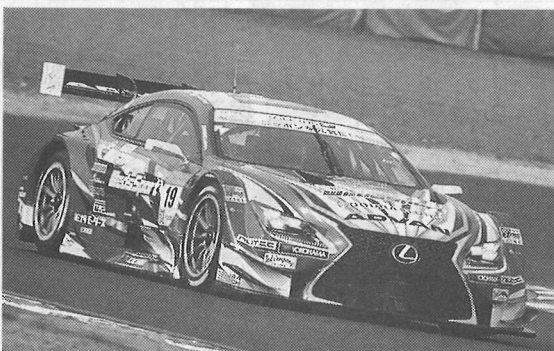
工技術を巧み

ことである。

「言い換えれば、車体装飾は、サイン施工技術を巧み

如谷社長は入社時(91年)から貼り施工に特化した時代、通常の看板業務だけでは会社の成長も心許ない。業務の拡大を目的に取組んできた。05年、車体装飾事業に本格

着手。「不況が長期化した時代、通常の看板業務だけでは会社の成長も心許ない。業務の拡大を目的に取組んできた。05年、車体装飾事業に本格



レーシング車(左)、高級輸入車の車体装飾



「PPF SHOP」も

07年には、専門部隊「PPF(ペイントプロテクションフィルム)事業部」をスタート。国産車、高級輸入車、ショーカー、企業用プロモーションカー、カスタムカー、レーシングカー、痛車などを手掛けていく。中でも、難度の高さで知られる高級輸入車の「フルラッピング」に



米国でのラッピング競技

「PPF SHOP」も

この数年間をみると、メディアの進化とともに、貼の職人の意識にも変化が見られ、米国、欧州、そして日本、世界的に技術レベルは向上してきているという。同社では、施工講習会も随時実施。相乗効果への期待もある。「カーラッピングを極めていくことで、サイン類の貼り施工技術もアップする」。如谷社長自ら会長を務める「日本カーラッピング協会」も今年誕生。業界団体として、カーラッピングのスペシャリストを育てたい。

「PPF SHOP」も

「PPF SHOP」も

「PPF SHOP」も